

5. 学生支援

5. 学生支援

5.1 学生概況

学部・学科の在籍学生数

令和2年5月1日現在

学部	学科	第1学年			第2学年			第3学年			第4学年			合計			
		男	女	小計	男	女	合計										
理工学部	1年生(教養)	220	52	272	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	220	52	272
理工学部	応用化学生物学科	-	-	-	60	19	79	66	14	80	34	12	46	160	45	205	
	電子光工学科	-	-	-	85	7	92	78	13	91	57	3	60	220	23	243	
	情報システム工学科	-	-	-	81	16	97	90	6	96	79	11	90	250	33	283	
	グローバルシステムデザイン学科	-	-	-	0	0	0	2	0	2	2	1	3	4	1	5	
総合光科学部	光システム学科	-	-	-	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	グローバルシステムデザイン学科	-	-	-	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2	
合計		220	52	272	227	42	269	236	33	269	174	27	201	857	154	1,011	

※1年次修了時に学科配属を行います。

大学院研究科の在籍学生数

令和2年5月1日現在

研究科	専攻	課程	第1学年			第2学年			第3学年			合計		
			男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	合計
光科学研究科	光科学専攻	博士前期課程	12	6	18	13	1	14	-	-	-	25	7	32
		博士後期課程	1	0	1	0	1	1	1	0	1	2	1	3
合計			13	6	19	13	1	15	1	0	1	27	8	35

5.2 奨学金

令和2年度各奨学金採用状況は次のとおりです。

- ・日本学生支援機構奨学金

学種	貸与種別	予約	在学	追加	緊急 応急	臨時	令和2年度 採用計
学部	給付	25	71	0	0	0	96
	第一種	59	12	0	0	0	71
	第二種	45	17	0	1	0	63
大学院	第一種	10	1	0	0	0	11
	第二種	4	0	0	0	0	4

・大学院研究援助金

種 別	採用件数
国 内	0
国 外	0

・その他の奨学金

奨学金名	貸与・給付	学 種	採用人数
あしなが育英会奨学金	貸与・給付	学部	1
交通遺児育英会奨学金	貸与	学部	1
北海道信用金庫奨学財団奨学金	給付	学部	1
山口正栄記念奨学財団	給付	大学院	1

5.3 学生相談

令和2年度の学生相談利用状況は次のとおりです。

担 当 者 公認心理士 1名

相談回数 72回

1日6時間 週2回（学休期閉室）であるが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により5月を閉室とし、8月、3月に追加で開室しました。

相談件数 354件（実人数 37人） 1回平均 4.9人

◆利用者数（件）

	1年	2年	3年	4年	院生	合計	(実人数)
令和2年度	31	12	96	190	25	354	(37)
令和元年度	38	56	36	71	5	206	(39)

◆月別利用者数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	16	閉室	31	31	37	34	43	46	32	28	37	19	354

精神的な悩み、心理性格面、対人関係、進路・修学、学生生活等の様々な相談内容に対応しています。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染不安などにより登校できない場合には、電話での相談を実施しました。

5.4 健康相談

令和2年度の健康相談利用状況は次のとおりです。

担 当 者 学校医

5. 学生支援

相談回数 22回

1日2時間 休業期間を除き月に2~3回開設していますが、令和2年度は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言等で4月と5月は中止としました。）

相談件数 27件（実人数25人） 1回平均1.2人

◆利用者数（件）

	1年	2年	3年	4年	院生	合計
令和2年度	0	4	4	15	4	27
令和元年度	6	7	4	6	0	23

◆月別利用者数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	中止	中止	2	3	1	3	3	3	3	2	2	春期休業	27

健康相談では、学校医による相談の機会を設け、健康上の悩みを持つ学生のカウンセリングを含めた指導を行っています。令和2年度は、健康診断での聴打診時に健康不安などに対応しました。

5.5 困りごと相談（障がい学生支援等含）

令和2年度の困りごと相談利用状況は次のとおりです。

担当者 相談員 1名（元特別支援学校校長）

相談回数 42回 週1回、1日5時間

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言等により5月を閉室としました。

相談件数 143件（実人数14人） 1回平均3.4人

◆利用者数（件）

	1年	2年	3年	4年	院生	合計
令和2年度	9	8	33	93	0	143
令和元年度	9	9	49	25	1	93

※その他：入学希望者の個別相談 1件

◆月別利用者数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	9	閉室	8	13	16	14	12	12	16	17	11	15	143

障がいのある学生の相談窓口として、また、学習面を含む「大学生活の困りごと」を具体的にサポートすることを目的として平成27年度より開設しました。

必要に応じ家族や教員など関係者を含めた相談なども実施しています。

5.6 クラスアドバイザー

平成19年度より、1～3学年についてクラスアドバイザー制度を導入し、出席状況調査等に基づいて、必要な学生には状況の確認や相談に応じるなどの支援を行っています。特に、1学年については、1名の教員が10名程度の学生を担当し、4月の1学年交流会への参加、各学期中の個別面談を行うほか、グループでのレクリエーションを実施するなど交流機会を設け、友達づくりの支援にも努めています。平成23年度からは、アドバイザーと学生および学生同士のつながりをより強くすることを目的として、1学年必修科目の一つを利用したグループ学習を行っています。

5.7 1学年交流会

令和2年度の1学年交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

5.8 学生団体の活動

本学の学生団体は、令和3年3月31日現在、学生会（学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会）のほか「部」12団体と「サークル」29団体があり、延べ300名以上の学生が活動を行いました。学生会および「部」に対しては、課外活動の活発化を目的として、総額268万円の部活動交付金を交付しました。また、部活動交付金以外にも、「部」が学外の施設を利用して課外活動をする場合、使用料金の一部を補助しています。

学生団体一覧（カッコ内は顧問教職員）

学生会：学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会

部

（体育系）：バスケットボール部（山中）、硬式テニス部（山林）、弓道部

（Karthus）、フットサル部（田口）、YOSAKOIソーラン部（本多）、野球部（谷尾）、卓球部（坂井）、バドミントン部（吉本）、ストリートダンス部（梅村）

（文化系）：軽音楽部（大越）、写真部（石田）、ライトアート工房（青木）

サークル：都山流尺八サークル（村井）、理科工房（長谷川）、テーブルゲームサークル、CCC（CIST Cycling Circle）（Karthus）、サバイバルゲームサークル（福田（誠））、アーチェリーサークル、菜園サークル（福田（誠））、数学サークル（福田（誠））、麻雀サークル、天文学サークル（梅村）、航空研究会（小林）、ソフトダーツサークル、陸上競技サークル、FMac（曾我）、ポケモンサークル、ハンドボールサークル、サッカーサークル、昆虫研究会（平井）、将棋サークル、バレーボールサークル、スポーツサークル、教職サー

5. 学生支援

クル（宮嶋）、映画サークル、プログラミングサークル、unityサークル、剣道サークル、イラストサークル、音ゲーサークル、アウトドアサークル

主な活動実績（大会入賞など）

○バスケットボール部

- ・男子第72回北海道大学バスケットボール選手権大会 4部リーグ【優勝】

○YOSAKOIソーラン部

- ・新入生歓迎演舞

○卓球部

- ・第53回会長杯争奪卓球大会 男子シングルス 初戦敗退
- ・2020年度北海道秋季学生卓球選手権大会 男子シングルス 二回戦進出
- ・2020年度北海道秋季学生卓球選手権大会 男子ダブルス 初戦敗退
- ・2020年度北海道秋季学生卓球選手権大会 男子団体 予選リーグF【2位】

○軽音学部

- ・公立千歳科学技術大学体育館 部内ライブ

○写真部

- ・第15回花と緑の写真コンテスト 応募
- ・撮影会（道の駅サーモンパーク千歳周辺）
- ・撮影会（円山動物園・北海道神宮）
- ・第15回花と緑の写真コンテスト【銅賞】
- ・撮影会（小樽市街地）
- ・撮影会（民族共生象徴空間ウポポイ）

○ライトアート工房

- ・イロイロリビング「Creative of living #2」でのポスター作品展示
- ・イロイロリビング 歯ブラシリサイクルに関するフライヤー制作
- ・イロイロリビングにおける展示会「公立千歳科学技術大学ぷちミュージアム cycle of art」の実施

○理科工房

- ・東京美装 職場体験生（千歳高等支援学校1年生）科学体験（第1回）
- ・認定こども園千歳春日保育園 科学実験体験（第1回）
- ・リフレッシュ理科教室（サイエンスオリエンテーリング2020in札幌）参加
- ・千歳市緑小学校6年生 実験授業（第1回）
- ・科学の祭典・札幌清田大会
- ・認定こども園つばさ 科学実験体験（第1回）
- ・千歳市緑小学校6年生 実験授業（第2回）
- ・認定こども園ひまわり 科学実験体験（第1回）
- ・認定こども園つばさ 科学実験体験（第2回）

- ・認定こども園ひまわり 科学実験体験（第2回）
- ・千歳市緑小学校5年生 実験授業
- ・東京美装 職場体験生（千歳高等支援学校1年生）科学体験（第2回）
- ・認定こども園千歳春日保育園 科学実験体験（第2回）
- ・平取町公営塾びらとり義経塾 理科実験教室

○CCC

- ・上野幌ー夕張 ライド 約170 km
- ・千歳ー小樽 ライド 約170 km
- ・札幌ー稚内 ライド 約320 km
- ・新札幌ー滝野霊園ー旭山記念公園 ライド 約80 km
- ・スキー&スノーボード in ONZE

○サバイバルゲームサークル

- ・サバイバルゲームフィールド砦での定例会へ参加
- ・ホビーショップキッズドラゴンでのインドアゲームの開催

○ポケモンサークル疾風の翼

- ・全国ポケモンサークルリーグ【北海道予選4位】

○プログラミングサークル

- ・ZoomにてフローチャートおよびC言語の講習
- ・ZoomにてラズパイとPythonの紹介
- ・ZoomにてHTMLの講習会

○イラストサークル

- ・第一回作品集『未完』制作

5.9 学生チャレンジプログラム

学生が主体的に行う活動を資金面で支援するために、「学生チャレンジプログラム」の募集を行っています。

支援対象活動は、学生全体を対象とした新たな学内イベントの創出や、社会・地域貢献活動、部昇格など学生団体の継続的な活性化を目的とした取り組みなどに対して、計画書を提出してもらい、その内容を審査の上補助を行う「学生生活貢献部門」と、社会的ニーズを踏まえた（貢献した）コンテンツ及びシステム開発を行った学生チームや個人に対して、その成果を審査した上で奨励する「情報メディア貢献部門」の2部門を支援対象としています。支援額は、学生生活貢献部門1件40万円以内、情報メディア貢献部門1件10万円以内としています。令和2年度は、コロナ禍により応募がありませんでした。

5.10 大学祭

令和2年度の稜輝祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

5. 学生支援

5.11 交通安全指導

令和2年10月1日(木)、北海道札幌方面千歳警察署の警察官に、交通事故防止と交通安全意識およびマナーの向上を目的に講話を行っていただきました。本学では講話を聞き、車両通学の申請がなされ許可を得た学生にのみ車両通学を許可しています。

5.12 保護者懇談会

令和2年度の保護者懇談会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

5.13 学生の受賞等

・佐々木記念賞

この賞は、本学の開学に尽力した初代学長 佐々木敬介教授(1936～1998)の偉業を称え、平成10年に創設されました。学業成績優秀な学部4年生および学術・研究に関し成績優秀または顕著な業績があった大学院生を表彰するものです。令和2年度は、学位記授与式において、賞状と副賞が授与されました。

<大学院>

(博士前期課程2年) 中村 郁哉

(博士前期課程2年) 阿部 晃大

<学部>

(理工学部応用化学生物学科4年) 渡邊 純平、小川 真由

(理工学部電子光工学科4年) 杉田 大祈、山崎 隆斗

(理工学部情報システム工学科4年) 及川 璃音、城 裕太郎

・学生表彰

この賞は、在学期間中に正課外の活動において顕著な成果をおさめた個人または団体を表彰する制度です。対象となる活動は、部活動において全国大会での入賞、ボランティア活動などになります。令和2年度の受賞者は、テクノ愛実行委員会主催のテクノ愛2020において、「人工衛星用自動展開式ソーラーパネルの考察」のテーマで優秀賞を受賞しました。受賞者には「学生表彰状」のほか、副賞として記念品が贈られました。

<学生表彰>

皆勝 亮汰(理工学部1年)